

STEP 一般財団法人 四国産業・技術振興センター ねっとわーく

Shikoku Industry & Technology Promotion Center

巻頭言 一般財団法人四国産業・技術振興センター 前 専務理事 植松 幸雄

お知らせ 令和6年度産学共同研究助成事業のご案内
2024 イノベーション四国顕彰事業(募集予告)

2024

夏号



しまなみ海道(愛媛県)

巻頭言

前座の引退

一般財団法人四国産業・技術振興センター
前 専務理事 植松 幸雄

01

お知らせ

令和6年度産学共同研究助成事業のご案内

2024 イノベーション四国顕彰事業（募集予告）

02

事業活動の紹介

(1) 新技術・新製品開発の支援 04

令和5年度事業化案件研究調査事業の成果報告

(2) プラットフォームを活用した支援 08

① 令和6年度CNFを活用した新事業の創出支援の概要

② CNFのトピックス

③ 令和6年度 機能性食品の普及と創出支援の概要

(3) 販路・用途開拓の支援 12

令和6年度 マッチングサイト「ヘルシー四国」活用による販路開拓支援の概要

(4) その他の事業 14

① 令和6年度定例理事会・定例評議員会開催

② イノベーション四国 令和6年度上期IC・支援機関連絡会を開催

③ 全国地域技術センター連絡協議会 事務連絡会

新賛助会員の紹介 19

AIPA株式会社

株式会社SSG

賛助会員からのトピックス 21

YAMAKIN株式会社

STEPのひとりごと 22

職員の異動

編集後記

前座の引退

一般財団法人四国産業・技術振興センター
前 専務理事 植松 幸雄



この度、6月の任期満了をもって退任、退職いたしました。

STEPに初めて配属されたのは、2021年3月、新型コロナウイルス感染症の対応の真っ只中でした。STEPは現場に出向いての活動を得意としている、ということで前任者から引き継いだのですが、全くそれができない状況で、出鼻をくじられる、とはまさにこの感じなのだろう、ともどかしく思ったことを覚えております。

直接の接触に制約のある中、事業を少しずつでも進めていきたいと、可能性を探っていろいろと試してみましたが、十分な対応と胸を張って言えるようなものでもなく、忸怩たる思いでした。

その後、新型コロナウイルス感染症が第5類になるなど、徐々に正常化へと進んできたわけですが、円安の継続、地政学的リスクの高い状況が続くなど、企業の経営を取り巻く情勢は以前とは大きく変わってきておりました。これまで通りのやり方考え方ではすぐに壁に当たってしまうことは明白、早急に新たな取り組みを実施していく必要がありました。

幸運なことに、コロナ禍での様々な対策により、業務を進める上での自由度が、それまで以上に許容されるようになってきていたので、いくつかの新たなことにチャレンジしていきました。

うまくいったのかどうかは、のちのちわかると思って、結果は早くには求めずに進めてきたつもりですが、そうはいっても1つでも芽が出てくれればいいな、と思う今日この頃です。

話は変わりまして、私事ですが、早口言葉や言葉遊びとしても知られる「じゅげむじゅげむ…」という話が好きです。

これは皆さまご承知のとおり、生まれた子供に名前を付けるにあたり、いつまでも元気で長生きできるようにと、紹介された沢山の縁起の良い言葉を、どれにするか迷った末に全部並べて付けてしまった、という古典的な落語の前座噺(ぜんざばなし)です。

落語が好きなのか、詳しいのかというと、そうでもないのですが、なぜか、この呪文のような言葉が気に入っています。

私の個人的な解釈では、たとえ、どんなに良いこと、役に立ちそうなことであっても、くどくどと積み上げているだけでは役に立たない、むしろ邪魔、周りに迷惑、お笑い種ということになりかねない、足るを知ることの大切さ、という意味があるのでは、と思っています。自戒の念を込めて、いろいろなことに対応してきたつもりですが、反省することのほうが多かったような気がしています。

ということで、話が長くなりましたので、この辺で筆を置きたいと思います。

最後になりましたが、これまで陰ひなたなくお力添えをいただきました関係者の皆様に、衷心より厚く御礼申し上げます。

STEPを今後ともよろしくお願いいたします。

「じゅげむ」は「寿限無」と書いて、「量り知れない寿命」のことだそうです。

これをお読みの皆さまが「寿限無」でありますように。

おあとがよろしいようで。

令和6年度産学共同研究助成事業のご案内

企業と大学等の共同研究・製品開発に助成を行います

当センターは、イノベーション四国と連携し、企業の技術開発・販路開拓をはじめとするイノベティブな取り組みに対する支援を行っており、四国の中小企業が大学・高専および公設研究所等と行う共同研究・製品開発について、以下のとおり、助成対象事業の募集を行います。

◆「産学共同研究開発助成事業」募集概要

対 象 者	大学・高専および公設研究機関等（以下「大学等」という。）の研究者と共同研究開発を実施しようとする四国内に本社または事業所を持つ中小企業等とします。 なお、大学等の所在地は問いません。
対 象 事 業	企業が取り組み中または検討中の技術開発・製品開発のうち、大学等と共同で行う研究開発事業とします。 ただし、助成対象となる研究期間は令和6年9月1日から令和7年8月31日までの間とします。
対 象 経 費	当該事業の実施に直接必要な経費（共同研究費および消耗品費等自主研究費）
支 援 金 額	1件あたり50万円（消費税込み）を限度とします。
研 究 期 間	1年以内（令和6年9月1日～令和7年8月31日までの間）
募 集 期 間	令和6年7月1日（月）～7月31日（水）
応 募 方 法	所定の申請書に必要事項を記載のうえ、当センターに提出 （申請書様式は、当センターのホームページからダウンロードできます） http://www.tri-step.or.jp/innovation/develop.html
選 考	採択件数は4件程度を予定しており、審査委員会において、「技術面」「事業化面」「政策面」について書類審査および必要な時はヒアリングを行い評価した上で決定します。
採 否 等 の 通 知	8月下旬頃に応募者宛てに通知します。
実 績 報 告	事業完了後、実績報告書を提出していただきます。
応 募 に 関 す る お 問 い 合 わ せ ・ お 申 し 込 み 先	〒760-0033 高松市丸の内2番5号 一般財団法人四国産業・技術振興センター 産業振興部 小池 TEL: 087-851-7081 FAX: 087-851-7027 E-mail: step@tri-step.or.jp

2024 イノベーション四国顕彰事業（募集予告）

第29回四国産業技術大賞

■四国産業技術大賞

●公募期間 令和6年9月1日（日）～10月31日（木）

（表彰区分）

①産業技術大賞 ②革新技術賞 ③技術功績賞

四国地域の産業技術の発展に顕著な功績があった企業等を表彰することにより、企業等の士気高揚を図り、四国地域の産業技術の高度化に資することを目的とします。

2023イノベーション四国顕彰事業表彰

第28回 四国産業技術大賞 受賞者一覧

受賞種別	受賞者名 (所在地)	受賞概要	推薦者
産業技術大賞	川之江造機株式会社 (愛媛県四国中央市)	CNF連続脱水・シート化装置の開発	愛媛県 産業技術研究所
最優秀革新技術賞	YAMAKIN株式会社 (高知県香南市)	さらっと塗れてしっかりコーティングできる 歯科表面滑沢硬化剤「Nu：leコート」	高知県発明協会
最優秀技術功績賞	株式会社 トーヨ (愛媛県西条市)	100MPa耐圧防護服「ジェットボーイ」の開発	国立大学法人 愛媛大学
優秀革新技術賞	阿波製紙株式会社 (徳島県徳島市)	解像度の良いクリアな音質を提供する スピーカー振動板 CARMIX CF RTPの開発	徳島県立 工業技術センター
優秀技術功績賞	室戸海洋深層水株式会社 (高知県室戸市)	全国初、100%海洋深層水の 「省エネ製塩システム」と「腸内フローラ改善食品」の開発	高知県 工業技術センター
審査員特別賞	大磯タオル株式会社 (愛媛県西条市)	タオル織機を用いた多重織アパレル製品の開発	愛媛県 産業技術研究所

1 新技術・新製品開発の支援

令和5年度事業化案件研究調査事業の成果報告

◆株式会社中温の研究調査成果

研究調査テーマ名	廃棄野菜を活用したセルロースセナノファイバー（CNF）の事業化
実施期間	2023年4月～2024年2月
企業名	株式会社中温
研究調査概要	野菜製品加工時に発生する廃棄野菜、端材を原料とするセルロースナノファイバー（以下CNF）の開発を行う。これはSDGsの観点からも廃品を利用出来る革新的技術である。従来のCNFとは異なり食品由来であるため、食品や美容化粧品への利用が可能であり、市場規模300億円に上るチューブ香辛料等の抱える問題点を解消し得る。本研究調査は、製品開発のための前処理方法、解繊方法、評価方法を調査、確立するものである。

本研究調査では、廃棄されるカット大根の端材を原料とした大根のCNF製造技術の確立と、CNFが持つ粘度調整や保水性、チキソ性等を活用したチューブ香辛料が抱えている課題（※）の解決に、次のステップで取り組んだ。

※ 大手食品メーカーが開発・市場投入している「大根おろしチューブ」は、水分と固形分の分離、醤油等の浸透度の欠如等の課題を抱えている。

- ① フードプロセッサーによる前処理と水分量を設定する。
- ② マスコロイダー等で解繊し、大根CNFの試作を行う。
- ③ 粘度調整性やチキソ性等の物性評価、触感などの官能評価を行う。
- ④ 大根CNFを大根おろしに均質に混ぜる方法を検討し、実施する。
- ⑤ その試作品の風味、食感等の官能検査を行う。
- ⑥ 試験結果のまとめと、営業用サンプルの作成を行う。

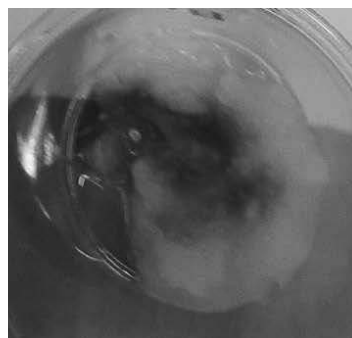
【研究調査成果】

廃棄野菜（今回は大根）を使用し、良質なCNFを得ることに成功した。

更に、当該CNFを添加した大根おろしに関して、その食味と風味、醤油の浸透性等について高い評価を得る事が出来た。



市販のチューブ大根おろし



試作したチューブ大根おろし
(CNF10%)

上の写真の様に醤油の浸透性に圧倒的な差があった。また、離水も無く、すりおろしただけの大根と遜色ない物が得られた。官能検査については、東雲女子短期大学・食物栄養学科にて、65名を対象に行い、63:2という大差にてCNF添加の物が好ましいという評価を得た。

野菜のCNFについては、既に某大手企業に着目いただいております。加熱耐性等の改良を続けるほか、他の野菜端材についても研究開発を進めていく。また、CNF使用製品については、試作を続けながら、展示会への出展等を通じて営業活動を行っていく。

◆室戸海洋深層水株式会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	室戸海洋深層水のにがりを使用した豆腐の機能性表示食品の開発
実施期間	2023年4月～12月
企業名	室戸海洋深層水株式会社
研究調査概要	海洋深層水ににがりを用いて製造した豆腐(以下、にがり豆腐)は、イソフラボンの含有量が増加することが判っている。本研究では、この「にがり豆腐」の腸内環境改善効果を調査する。「にがり豆腐」の摂取によるエクオール量の変化を診る実証試験を行い、腸内環境への影響を検証する。改善効果が認められれば、その結果を論文にまとめ、機能性表示食品として届出を行う。

【実証試験の内容】

腸内のエクオールの量は摂取した大豆イソフラボンの量に比例することが判っているが、本研究の目標は機能性表示食品の届出であることから、実証試験については、

- ・被験者は日常生活において「にがり豆腐」を摂取する
- ・上記のもと、被験者の1日あたりのイソフラボン摂取上限目安値を超えないよう、豆腐のにがり含有量を調整することとし、次のように実施した。
- ・対象人数：79名
- ・試験方法：対象を2群（にがり豆腐（とうふらぼん）摂取群・プラセボ（卵豆腐）摂取群）に分け、それぞれ、豆腐70グラムを1日1回、1箇月間摂取。
- ・測定方法：試験前後、尿を採取、尿中のイソフラボンおよびエクオールの量を測定。

【実証試験の結果】

測定結果は下表の通り。尚、試験対象の内、大豆イソフラボンからエクオールを生成するために必要な腸内細菌（エクオール産生菌）を持っていたのは22名（持っていなかったのは57名）であった。

【試験結果の考察】

にがり豆腐摂取群については、全体として大豆イソフラボン（ダイゼイン・ゲニステイン）量の増加が認められた（表上部）。エクオールについては、にがり豆腐摂取群については、プラセボ摂取群よりも相対的に多かったものの、絶対的には、何れも試験後の減少がみられた（表下部）。これは、対象の内、エクオール産生菌を持っていた人数が22名と少なく（一般には日本人は50%とされている）、よって、対象の一部の生活習慣等による腸内細菌の活性の低下が全体の結果に影響したものと思われる。

【今後の予定】

今回の実証試験では十分な測定結果が得られなかったが、これまでの試験結果（99名分）と併せて評価の上、機能性（腸内環境改善効果）を論文として提出できるか否か検討を行う。また、方法を見直した追加の実証試験の実施についても検討する。

	とうふらぼん (n=41)			卵豆腐 (control) (n=38)		
	preintervention	postintervention		preintervention	postintervention	
Urine isoflavones						
Daidzein (mg/g-Cre)	1.00 (0.32-2.37)	1.79 (0.66-3.84)	n.s.	1.49 (0.54-2.35)	1.04 (0.30-1.59)	n.s.
Genistein (mg/g-Cre)	0.97 (0.46-2.43)	1.69 (0.46-4.47)		1.12 (0.39-2.93)	0.88 (0.25-2.19)	n.s.

	とうふらぼん (n=13)			卵豆腐 (control) (n=9)		
	preintervention	postintervention		preintervention	postintervention	
Urine isoflavones						
Daidzein (mg/g-Cre)	1.73 (0.48-2.46)	1.79 (0.66-3.84)	n.s.	1.83 (1.46-3.59)	1.28 (0.71-1.87)	n.s.
Genistein (mg/g-Cre)	1.79 (0.58-2.79)	2.47 (0.46-3.92)	n.s.	0.93 (0.36-3.52)	1.64 (0.83-2.20)	n.s.
Equol (mg/g-Cre)	1.03 (0.57-2.46)	0.77 (0.49-1.37)	n.s.	1.66 (0.92-2.19)	0.56 (0.28-1.03)	n.s.
Equol (g/g-Da)	0.90 (0.48-1.17)	0.55 (0.13-3.09)	n.s.	0.46 (0.32-1.81)	0.22 (0.19-0.80)	
Equol (g/g-E+D)	0.47 (0.32-0.54)	0.36 (0.11-0.76)	n.s.	0.32 (0.24-0.64)	0.18 (0.16-0.44)	

*, P < 0.05 (Wilcoxon signed-rank test)

#, P < 0.10 (Wilcoxon signed-rank test)

n.s., P > 0.10 (Wilcoxon signed-rank test)

◆服部製紙株式会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	次世代新素材を配合し洗浄効果の高い重曹電解水を用いたトイレに流せるクリーナーシートの開発
実施期間	2023年4月～2024年3月
企業名	服部製紙株式会社
研究調査概要	新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより世界的に衛生環境への意識が高まっている一方、サニタリー市場では合成界面活性剤を使用したトイレクリーナーシートしか存在していない。そこで、他社類似製品との差別化を図るため、次世代新素材と弊社独自の洗浄効果向上技術の併用により、アルカリ性環境下でも強度を保ちながら素手で安心して使用でき、トイレに流せる界面活性剤不使用の高機能なトイレクリーナーシートの開発を目指す。

本研究調査では、合成界面活性剤を使わないので素手で安心して使用でき、洗浄効果が高い重曹電解水を活用したうえで、次世代新素材（パラミロンナファイバー）を活用することで、

- ・トイレの便器およびその周辺をゴシゴシ掃除しても表面強度が保たれる
- ・トイレに流すと100秒以内でほぐれる
- ・製品化可能な範囲で安全性と低コストを担保できる

トイレクリーナーシートの実現を目指し、「①次世代新素材の選定」「②紙の選定」「③紙への塗工方法の検討」「④薬液の検討」「⑤エンボス加工の検討」のステップで研究調査に取り組んだ。

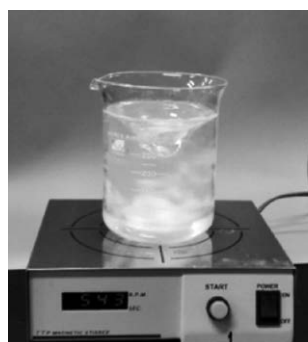
【研究調査成果】

○実験フェーズ

前記の検討・試作・試験の結果、水解紙に次世代新素材（パラミロンナファイバー）を含浸させることで、水解時間の増加を抑制しつつ、水解紙の強度を向上させる方法を見出した。また、重曹電解水が作るアルカリ性環境下においても、半年程度は安定した強度が保たれることを確認できた。



引張強度試験



水解性試験



保存試験

○実機フェーズ

紙への塗工について、実機による検証を実施、実機での生産が可能であることを立証できた。



原紙セット部



塗工部



巻き取り部

今後、製造の低コスト化、エンボス加工による表面強度の向上などの課題について研究調査を進め、安定性試験や量産化検討の上、製品化に向けて進んでいきたい。

◆徳武産業株式会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	お一人おひとりの足の症状に合わせた個人対応福祉シューズの研究開発
実施期間	2023年4月～2024年2月
企業名	徳武産業株式会社
研究調査概要	弊社主力商品である福祉シューズにおいて、お客様の足の症状は高齢による足のトラブルにより多岐にわたる。そのため、弊社既製品では対応できない方に向け、独自のパーツオーダーシステムを導入し、カスタムでお客様の症状に合わせた製品提供を行っている。しかし、それでも未だに解決できていない症状対応があるため、更なる個人対応をしていく上での課題点を解決する3D化・個人対応シューズの研究開発を行う。

現状解決できていなかった症例として、つま先部の変形（外反母趾・交差趾・ハンマートゥなど）により一般に市販されている靴が履けないケースが多い（右写真）。本研究調査では、このような方々に安心して履いていただける靴をお一人おひとりの足に合った形状で提供するため、「試作時の仕組みの検討」「フットスキャンデータのデータ収集」「サンプル作成・ユーザ検証」を実施した。



【研究調査成果】

「試作時の仕組みの検討」においては、試作に必要な機材について検討し、新たにカービングマシン、オープン、バキュームプレス、バキュームディスクを導入した。また、試作のための木型の変更に取り組んだ（左下写真）。「フットスキャンデータのデータ収集」においては、フットプリント（右下写真）を使用して、150件以上のデータを収集し、つま先部の形状をパターン化した（4パターンを決定した）。



「サンプル作成・ユーザ検証」においては、変更した木型を使用してクリアシューズ（左下写真）を作成、仮合わの精度を向上して試作品を作成し、ユーザの歩行状況を確認した（右下写真）。



これらの成果から、つま先部の変形に対応した靴の作成について、弊社商品「あゆみ」の形状を活かしながら改良していくアプローチが可能であるとの見通しを得た。通常、つま先部の幅に合わせると必然的にかかとの幅も広くなり脱げやすくなるが、かかとの形状は変更することなく、つま先部のみの変更を可能とすることができた。また、専門ではない方でも「より簡単に・より正確に」足の採寸ができるよう、必要機材を導入して計測キットも開発できた。

今後、弊社のパーツオーダーシステムにつま先部の変形に対応したメニューを追加できるよう、ユーザ検証を継続、その結果をフィードバックして計測キットの精度を向上させていく。



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.keirin-autorace.or.jp/>

2 プラットフォームを活用した支援

①令和6年度CNFを活用した新事業の創出支援の概要

四国は、全国的にも紙関連の産業が集積しており、これらの産業界では、紙の製造技術を活かせる次世代素材のセルロースナノファイバー（CNF）が注目されています。

CNFは、自然由来材料から製造されかつ、板材に強度を付加する、液体の粘度を可変的に調整するなど、素材に多様な機能を付加することができ、自動車部品、建材、化粧品、食品分野など、多様な方面への利活用が期待されています。

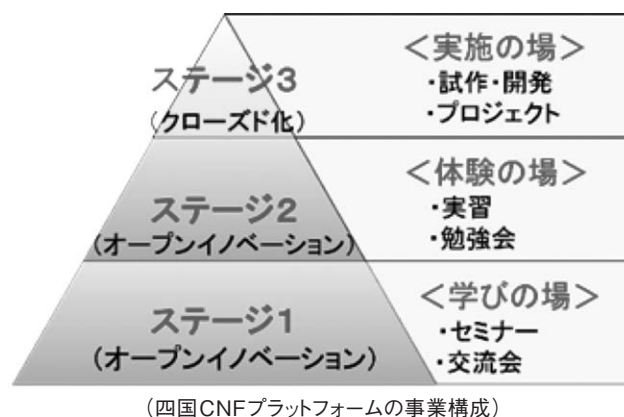
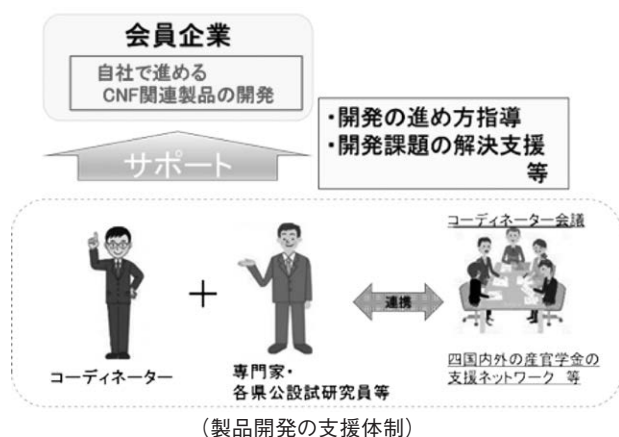
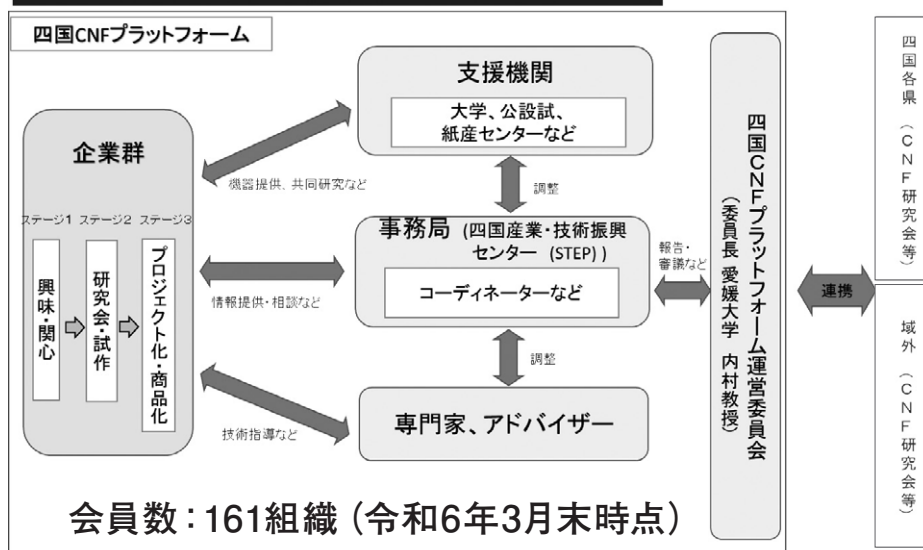
ここ数年、多方面でCNFの利活用事例が出始めており、大王製紙㈱がR25年度にCNF樹脂ペレットの商用設備（能力2千ton/年）を稼働させると発表するなど、CNFの社会実装が定着するか重要な時期にさしかかっています。

当センターでは、四国経済産業局と平成28年に設立した「四国CNFプラットフォーム」（運営委員長：愛媛大学内村浩美教授、事務局：STEP、会員企業等161組織@R6.3E）をベースに、四国4県の公設試験所等と協力しながら、CNFを活用して自社製品の高付加価値化に取り組む企業を支援する活動に取り組んでおり、CNFの確実な社会実装を目指しています。

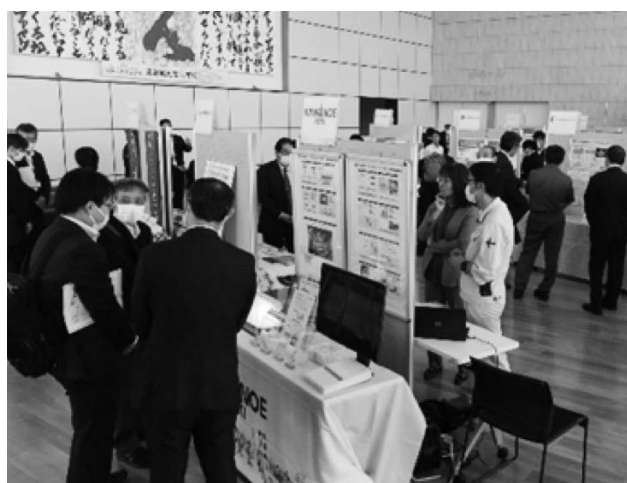
令和6年度は、企業訪問、セミナー開催等による「取組企業の発掘」や、製品開発案件に対するコーディネーター、専門家の技術指導等による「製品開発支援」、開発品をアピールする「展示会開催」などを実施し、支援先企業の「新しい事業の柱」に育つよう支援する計画です。

事業名	概要
CNFを活用した製品の開発支援	・CNF利活用に取り組む企業にコーディネーターや専門家が訪問し、伴走型で技術課題解決や企業間連携などの開発支援を行うことで製品化につなげる。 ・「四国CNFプラットフォーム」をベースに、各支援情報を「CNFコーディネーター会議」で連携しながら支援。
企業訪問・普及啓蒙活動	・専門家等が企業を訪問し対話するなかで、四国の素材産業発展にとって有望な開発テーマ、取組企業を発掘する。 ・企業訪問時には、「CNF利活用検討ヒント集」等を活用し、企業ニーズをより具体的に引き出す。
CNF実用化事例紹介セミナー&四国セルロースナノファイバー展示会	・製品を開発した企業等の方々から、経験談等を紹介いただくことにより、企業の取組意欲を高めるためのセミナーを開催。 ・同時に、四国でCNFに取り組む企業、CNFメーカー、支援機関等が、それぞれの取組みを展示・PRする展示会を開催。
CNF体験セミナー	・実習等でCNFの取扱いを体験していただき、CNFの取扱いのコツをつかんでいただくセミナーを開催。

四国CNFプラットフォームの体制



(CNF利活用検討ヒント集)



(四国セルロースナノファイバー展示会 R5年度)

②CNFのトピックス

当センターでは、「四国CNFプラットフォーム」をベースに、セルロースナノファイバー（以下CNF）の社会実装を目指した活動を進めております。

今回は、技術トピックスとして、CNFの地球温暖化対策への貢献効果について紹介します。

【CNFを活用した地球温暖化対策について】

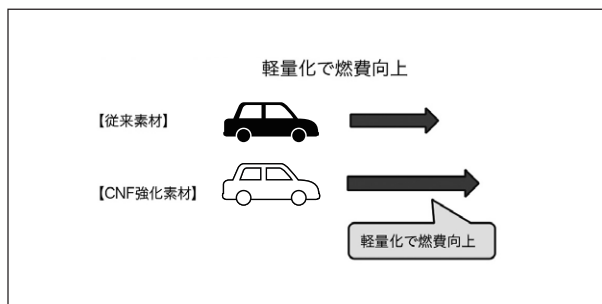
CNF（セルロースナノファイバー）は、光合成でCO₂を取り込んだバイオマス由来で、生分解性があるとともに、LC（ライフサイクル）でCO₂排出量削減にも大きく貢献できうる、環境にやさしい素材です。

CNFは一部で「製造時に繊維化に必要なエネルギー量が大きく、環境にやさしくないのでは」といわれることもありますが、CNF活用製品として使われる時、CNFの少量添加で構造部材の強度アップや大幅な軽量化等が実現できる可能性があり、効果的に使うことでLC-CO₂排出量削減効果が期待できる素材です。

〈CNF適用でLC-CO₂排出量削減可能な例〉

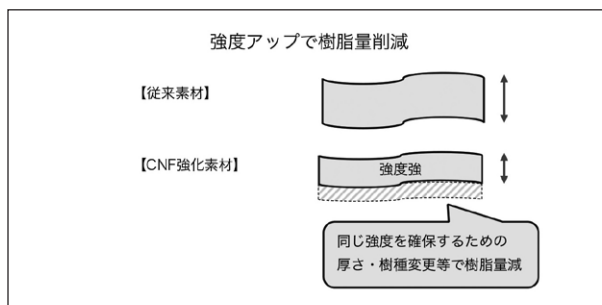
◆軽量化で燃費向上

自動車等の輸送機器（ボディーや内装等）に、CNFで強度アップ・軽量化した樹脂を使い、自動車等を軽量化することで、走行時の燃料使用量削減が図られ、LC-CO₂排出量削減に貢献できる。



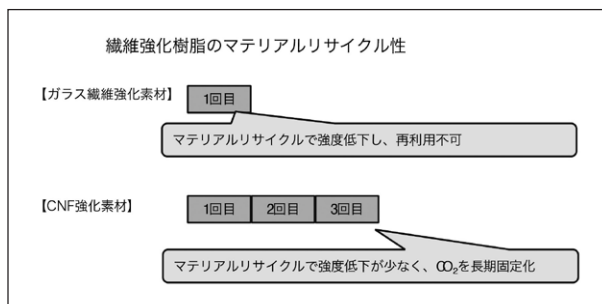
◆強度アップで使用樹脂量削減

各種製品の構造部材（押出成形品、射出成型品、シート材等）に、CNFで強度アップした樹脂を活用すると、同じ強度を確保するのに必要な厚さや樹種変更等で、CO₂排出量の多い樹脂（石油由来）を削減でき、LC-CO₂排出量削減に貢献できる。



◆マテリアルリサイクルで長期固定化

CNFで強度アップした樹脂は、従来のガラス繊維で強度アップした樹脂に比較しマテリアルリサイクル時の強度が落ちにくい（繊維の折れが少ない）、複数回のマテリアルリサイクルが可能で、LC-CO₂排出量削減に貢献できる。



③令和6年度 機能性食品の普及と創出支援の概要

四国における機能性食品創出に向けた取り組みとして実施している四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）について、各種展示会・セミナーにおいて紹介し、認知度向上の取り組みを行うとともに、協議会会員間の交流促進に係る活動を行います。

事業名	概要
四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）の運用	・関係・連携機関が主催する各種セミナー、展示会等でのPR活動 ・四国食品素材論文ライブラリーの内容充実 など
四国健康支援食品普及促進協議会活動	・協議会会員への食品機能性に関する各種情報提供（雑誌、新聞、中央省庁ホームページなど） ・本制度適用申請に関する講習会の開催 ・本制度の検討・申請手続きなどに関するサポート（個別対応） ・会員間の相互交流、特定の課題・テーマに関する会合の開催 ・製品開発・販路開拓に関するサポート（個別対応） など

四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）認証食品

	認証番号	認証事業者	所在地	商品の名称（形態）	対象素材（※1）
2017年度	第01-0001号	（株）レアスウィート	香川県	レアシュガースウィート（甘味料）	希少糖 （ブシコース、ソルボース、タガトース、アロース）
	第01-0002号	自然免疫応用技研（株）	香川県	健康茶さらそま（お茶）	バントエア・アグロメランス由来LPS
	第01-0003号	酔鯨酒造（株）	高知県	KENNOU けんのう（清涼飲料水）	葉酸、ビタミンB6、 ビタミンB12
	第01-0004号	バイオアイ（株）	大阪府	美ッ栗ポリフェノール（サプリメント）	栗渋皮抽出物 （愛媛県の企業が製造）
2019年度	第05-0005号	メディカルネットサーバー（株）	東京都	サンケイパワー（サプリメント）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）
	第05-0006号	メディカルネットサーバー（株）	東京都	スーパーサンケイエース（サプリメント）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）
	第05-0007号	（株）ベストフード	愛媛県	血圧ゼリー（サプリメント）	バリルチロシン （イワシ由来）
2020年度	第06-0008号	（株）アデランス	東京都	LPS免気エスコート（サプリメント）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）
	第07-0009号	赤穂化成（株）	兵庫県	志國の水、室戸の水（いずれも清涼飲料水）	海洋深層水ミネラル （高知県の事業所で製造）
	第07-0010号	（株）あさの	高知県	高知・生姜 あさの家 しょうが湯（粉末清涼飲料）	生姜加工物 （6-ジンゲロールと6-ショウガオールを含む）
2021年度	第08-0011号	（株）ル・シェール	東京都	ル・シェールプレミアムドリンクM&M（清涼飲料水）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）
	第08-0012号	池田薬草（株）	徳島県	スダチン錠／Sudachin®（スダチン）（サプリメント）	スダチ果皮エキスを末
2022年度	第10-0013号	（株）ふじや	徳島県	大豆ミートとすだちの餃子（一般加工食品）	スダチ果皮エキスを末
2024年度	第12-0014号	健康屋本店（有）	愛媛県	アクトファージ（サプリメント）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）

（※1）食品あるいは食品の原材料となる素材のうち、健康でいられる体づくりに関する科学的な研究が行われたものをいいます。

（2024年5月末日時点）

今年度認証食品

3 販路・用途開拓の支援

①令和6年度 マッチングサイト「ヘルシー四国」活用による販路開拓支援の概要

四国の特徴を活かした機能性食品を含む付加価値のある食品素材・商品の創出を促し、その販路開拓を支援するため、令和3年度に当センターがマッチングサイト「四国発!ヘルシー食品&素材マッチングウェブ(ヘルシー四国)」を構築しました。

令和6年度は、昨年に引き続き、本マッチングサイトの充実を図るとともに、本サイトを有効活用した販路開拓支援を強力に推進します。

事業名	概要
マッチングサイトの活用による販路拡大支援	○主に企業間取引(BtoB)を指向する食品素材・商品及び資機材等の製造企業の販路開拓・商品開発支援 ○マッチングサイト登録企業の販路拡大・商品開発を目的とした展示会出展支援 ○デジタルマーケティングに意欲のある企業を対象に、公的資格「ウェブ解析士」を有する専門家を派遣するなど、効率的なリスティング広告出稿などのハンズオン支援を行う。 など



ヘルシー四国は食品と素材のマッチングサイトです

四国発! ヘルシー食品&素材マッチングウェブ ヘルシー四国

登録企業ログイン 閲覧会員登録

機能性食品素材のデジタルマッチング支援 in 四国

全国的卸会社や食品加工メーカーなどの方々に閲覧していただける、企業間(BtoB)マッチングの専門サイトです。

四国発! ヘルシー食品&素材マッチングウェブ

機能性食品素材のデジタルマッチング支援 in 四国

本サイトの構築コンセプト

CONCEPT 1	CONCEPT 2	CONCEPT 3
企業の皆さんが簡単に利用できること 本サイト掲載の「ウェブサイトご利用条件」をご覧ください	企業や製品の情報を様々な方法で見つけられること	登録企業へのコンタクトが容易に行えること
無料で利用できる	四国を中心とした食品素材・加工メーカー等が素材や商品の特長などの情報を、訴求力が高い動画を利用して積極的に掲載することで、BtoBマーケティングを意識したバイヤー等への情報提供が効率的に行える 属性やキーワードによる高度な検索ができる	システム上で登録企業へマッチングリクエストを送ることができる
閲覧会員登録すれば限定公開情報(展示会のみでしか入手できないFCPシートなど)が閲覧できる	四国における特徴ある食品の全国への紹介サイトとして、通年で活用できる 地理的・時間的な制約の解消	イベント開催スケジュールと連携しリアル商談を効率的、効果的に行うことができる

○アクセス方法

① URL入力

URL: <https://www.healthy-shikoku.jp/>

② 検索サイトで検索

ヘルシー四国

検索

③ QRコード



賛助会員入会のご案内

年会費

1口 3万円／年（何口でも結構です）

お問い合わせ先

STEP総務企画部までお問い合わせください。

TEL 087-851-7025 FAX 087-851-7027 E-mail step@tri-step.or.jp

一般財団法人四国産業・技術振興センター（STEP）は、昭和59年に四国地域の技術振興を図り、地域経済の発展に貢献することを目的に、民間有志の方々により設立された広域（四国地域全体）の産業支援機関です。

平成20年には、近年の企業活動の高度化・グローバル化に対応するため、四国内の研究機関や産業支援機関などに働きかけ、「四国地域イノベーション創出協議会（イノベーション四国）」を設立し、当センターを始め会員機関など四国の総力を挙げて企業の皆さまが抱える課題全般を解決支援しております。

これらの活動を発展させ、永続的なものとするためには、企業の皆さまからの要請と支持が不可欠であり、財源については、当センターの賛助会費等を充てておりますが、これについても皆さまのご理解とご協力が不可欠です。

つきましては、当センターの良き理解者、支持者として賛助会員に入会され、四国の経済発展に貢献して頂きますよう、何卒よろしくお願いいたします。

賛助会員特典

- ・ 技術開発について、プロジェクト計画立案から事業化まで総合的な支援が受けられます。
- ・ STEP が開催するセミナー、研修会、講演会、見学会などへの参加料が割引もしくは無料になります。
- ・ メールマガジン「イノベーション四国 NEWS」などを通じて技術開発や地域振興などに関するセミナー、展示会等の開催情報が配信されます。
- ・ 情報誌（STEP ねっとわーく）STEP の活動状況や、賛助会員企業様のご紹介、調査報告書などを掲載している年4回発行の季刊情報誌が無料で配布されるほか、情報誌等にPR記事を掲載できます。

4 その他の事業

① 令和6年度定例理事会・定時評議員会開催

四国産業・技術振興センターは、令和6年度の定例理事会、定時評議員会を開催しました。

定例理事会は6月5日、東急REIホテルにおいて、理事総数13名中13名の出席（うちWEBでの参加3名）および監事2名の出席により開催し、令和5年度の事業報告、決算 および公益目的支出計画実施報告書について承認しました。このほか、JKA補助事業の実施、定時評議員会の招集について承認しました。

定時評議員会は6月24日、東急REIホテルにおいて、評議員総数14名中10名（うちWEBでの参加2名）の出席および理事2名の出席により開催し、令和5年度決算等の承認のほか、理事・監事および評議員の選任を決議しました。

令和6年度 定例理事会

1. 日 時：令和6年6月5日（水）13時00分～14時00分
2. 場 所：東急REIホテル
3. 出 席：理事13名、監事2名
4. 議 事：第1号議案 令和5年度事業報告について
第2号議案 令和5年度決算の承認について
第3号議案 令和5年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
第4号議案 令和6年度（公財）JKA補助事業の実施について
第5号議案 定時評議員会の招集について



令和6年度 定時評議員会

1. 日 時：令和6年6月24日（月）15時00分～16時00分
2. 場 所：東急REIホテル
3. 出 席：評議員10名、理事2名
4. 議 事：第1号議案 令和5年度事業報告について
 第2号議案 令和5年度決算の承認について
 第3号議案 令和5年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
 第4号議案 令和6年度（公財）JKA補助事業の実施について
 第5号議案 理事、監事および評議員の選任について



承認された令和5年度決算

貸借対照表（令和6年3月31日現在）

（単位：百万円）

	令和5年度	令和4年度	増 減
資 産	559	559	△0
負 債	13	16	△3
正味財産	546	542	3

損益計算書（正味財産増減計算書）

（単位：百万円）

	令和5年度	令和4年度
収 益	131	92
費 用	128	100
正味財産増減額	3	△7

（注）金額は、百万円未満切捨てで表示している。

②イノベーション四国 令和6年度上期 IC・支援機関連絡会を開催

イノベーション四国では、事務局の当センターと副事務局の産業技術総合研究所、中小企業基盤整備機構の3者と関係パートナーの四国経済産業局の他に一部会場では新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の参加のもと、各地区のイノベーションコーディネーター（IC）および支援機関の方々との連絡会を開催し、当該年度の活動計画の周知・協力依頼と関係者からの意見や情報の収集を実施しました。5月28日～6月20日の間で四国内5地域を巡回し、高松会場ではオンラインも併用しました。

連絡会では、冒頭、植松運営委員長より「イノベ四国は平成20年に設立され、設立趣旨を読み返しますと、四国の研究機関及び産業支援機関が連携するネットワークの構築や、各機関が保有する技術開発資源の相互活用を行うことができる環境の整備、企業の高度な技術的課題を広域的な連携により解決する仕組みの整備を図り、自律的、継続的にイノベーションを創出するための中核的な組織として機能する地域イノベーション創出協議会を設立すると記載されております。改めまして、我々イノベ四国という組織体の積極的な活動の継続をお願いしたいと思います。」との挨拶がありました。

各所から以下の説明がありました。事務局からは秘密保持に関する周知も行いました。

【当センター】新技術・新製品開発の支援、販路・用途開拓の支援、支援基盤の整備

【産 総 研】産総研四国センターの活動概要

【中 小 機 構】中小機構の取組紹介（ジェグテック、スタートアップ挑戦支援など）

【四 経 局】経産省関連支援事業（GoTech、IT導入補助金など）

【N E D O】分野横断的研究開発支援の紹介

全体説明後に情報交換の時間を設けましたが、積極的な情報収集や意見交換が行われました。連絡会全般を通して、IC・支援機関の企業支援活動についての活発な議論がなされ有益な会合となりました。また、一部の会場では懇親会を開催し、こちらも大いに盛り上がりました。

今後もIC・支援機関との連携促進を図り、より実効性のある企業支援を行っていききたいと思います。

開催状況

会 場	開催日	場 所
高 知	5月28日	高知県民文化ホール
高 松	5月29日	高松センタービル (オンライン併用)
徳 島	6月12日	あわぎんホール
松 山	6月19日	松山二番町ホール
東 予	6月20日	SAIJO BASE



植松運営委員長挨拶



産総研様 説明 (松山会場)



中小機構様 説明 (松山会場)



懇親会



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。
<https://www.keirin-autorace.or.jp/>

③全国地域技術センター連絡協議会 事務連絡会

全国地域技術センター連絡協議会の事務連絡会が大阪科学技術センターで開催されました。同連絡会は、当センターと同様の技術支援活動を各地域で実施しているセンター10団体の連絡会で大阪科学技術センターが事務局をしています。

連絡会では各団体の事業トピックスや各団体からの課題について意見交換しました。当センターからは事業トピックスとして植松専務理事が令和6年度の活動内容を紹介しました。Go-Tech事業運営、女性活躍推進、公益財団法人の制度改正の3テーマについて意見交換しました。

また会議終了後には、懇親会があり、他センターと交流を深めることができました。

■開催月日：令和6年4月25日

■場 所：大阪科学技術センター

■議 題：1. 各所からの令和6年度事業トピックス
2. 個別テーマについてのディスカッション

■参加機関：北海道科学技術総合振興センター、東北活性化研究センター、北陸産業活性化センター、中部科学技術センター、名古屋産業技術研究所、大阪科学技術センター、中国地域創造研究センター、四国産業・技術振興センター、九州オープンイノベーションセンター、南西地域産業活性化センター、日本科学技術振興財団



AIPA株式会社

- 設 立：1969年7月
- 資 本 金：1億円
- 代 表 者：代表取締役 伊藤俊一郎
- 従 業 員 数：65名
- 所 在 地：愛媛県四国中央市川之江町415-1
TEL：0896-58-5286
FAX：0896-58-8041
- 事 業 内 容：古紙100%再生パルプ製造事業
製紙スラッジ焼却処分事業
ECOREA製品共同販売事業
パルプ販売事業



- 企 業 P R：私たちは、100%古紙再生パルプを製造する会社です。

四国中央市の本社工場では、オフィス・職場で出てくる紙廃棄物や、牛乳パック等、家庭の紙廃棄物を原料として古紙再生パルプを製造し、グループの製紙会社等へ販売しています。

弊社の製造設備は、細かい泡にインクを吸着させるフローテータ、ビニールなどの異物を取り除くパーパーやスクリーンなどの機械により、繊維だけを効率よく回収する技術に長けており、どの様な古紙原料からでも高品質のパルプを生産する事が可能です。

弊社で古紙を再生する際、クリップ除去などの面倒な作業を軽減できることや、機密書類を段ボール未開封のまま、抹消することが可能です。(企業様で排出される機密書類などの紙廃棄物は、四国中央市の本社工場まで持ち込みいただければ、即時抹消処理致します。)

他にも、産官学で繊維をプラスチックに混ぜて減プラに貢献するセルロースフィラーの研究を行っております。

近年、企業を経営していくために環境貢献が求められています。

私たちは「未来へ、美しい自然を残したい」という思いを胸に、紙ごみを焼却から再利用し、資源化することで環境に貢献していきます。



- オフィス・職場・家庭は紙廃棄物の発生源。そのゴミは全て再生できる可能性を秘めています。
- 紙廃棄物を分別する。そのひと手間が循環型社会の構築を担っています。
- 牛乳パック・機密書類・オフィスミックス古紙・印刷加工ロス。AIPA独自のルートで日本全国から回収します。
- 「無漂白&古紙100%」AIPAでは、再生パルプの開発・生産・供給を日々行っています。
- 高い再生能力を有す3種の処理ラインで、メーカーの多様な要求に応じた再生パルプを供給。
- AIPAグループメーカーは再生パルプを原料に、再生家庭紙を生産します。
- トイレット・ティッシュ・タオル・ペーパー・看護半紙・天竺パルプ。同様の品質を持つ製品は、各方面から高い評価を得ています。
- 再生された製品の購入や利用は持続可能な社会の実現に大きく貢献しています。

株式会社SSG

- 設 立 : 2014年2月
- 資 本 金 : 1000万円
- 代 表 者 : 代表取締役 高免 知己
- 従 業 員 数 : 12名
- 所 在 地 : 香川県綾歌郡綾川町千足2160番地7
TEL : 087-814-3313
FAX : 087-814-3313
<http://ssg-inc.co.jp>
- 事 業 内 容 : 太陽電池モジュール洗浄
自然エネルギー発電事業
電気工事・電気通信事業



ソーラーパネル洗浄ロボット & 専用搬送車

- 企 業 P R : ソーラーパネルに花粉や黄砂、鳥の糞などが付着すると、発電効率が低下するだけでなく、破損や火災など思わぬ事故につながる可能性もあります。定期的に洗浄を行うことで太陽光発電システムの発電効率を高いレベルで維持できます。
- 弊社が特許出願中の洗浄ロボットはパネル面の起伏に関わらず、個々のパネルに対して同様の圧力を加えるため質的に安定した洗浄を施します。また、時間的な作業量の省力化、省人化となるため、施工時間の短縮と経費の節減につながります。洗浄に欠かせない水に「純水水」を使用します。

ソーラーパネル洗浄ロボット

ロボット導入で
作業効率が
劇的に
変わります



特許
出願中

賛助会員からのトピックス

平素より賛助会員のみなさま方には、当センターの活動をご支援いただき厚く御礼申し上げます。このコーナーでは、それぞれの事業分野で、特徴のある活動を展開しております賛助会員からの話題性に富んだ情報をご紹介します。

YAMAKIN株式会社（高知県 香南市）

●【事業内容】

当社は2022年に創業65年をむかえた歴史ある会社です。貴金属地金を売買する「地金商」として創業し、その後半世紀にわたり事業領域の拡大を図り、貴金属地金部門・貴金属加工部門・貴金属精錬部門・歯科材料部門の4つの部門に発展しました。



貴金属 地金

産業発展に不可欠な貴金属材料



貴金属 精錬

限りある貴金属をリサイクル



貴金属 加工

スマートフォンや自動車に使用される電子デバイス向け材料



歯科医療

歯科医療用材料の開発～製造&販売

●【当社の技術】

当社は研究開発型企業として産学官連携を積極的に進め、技術や知識を相互移転することで、研究開発を加速化させています。

・電子部品向け貴金属および貴金属合金の加工

当社の材料はスマートフォンや自動車、LEDなどの最新技術を陰ながら支えています。また、独立行政法人造幣局の発行する記念貨幣の素材となる板材や円形の加工品も納入しています。

	めっき	蒸着	スパッタ
特徴	電気や還元剤を用い、水溶液中の金属イオンにより成膜する。	材料に熱エネルギーを与え、材料を蒸発させて基板に成膜する。	材料に運動エネルギーを与え、材料を原子レベルでたたき出し、基板に成膜する。
原理	※電気めっきの場合 電極（陽極）と電極（陰極）を電解液中に浸し、電圧を印加することで、電極（陰極）に金属が析出する。 ※電気めっきの場合 電極（陽極）と電極（陰極）を電解液中に浸し、電圧を印加することで、電極（陰極）に金属が析出する。	基板と蒸着材を真空 chamber に設置し、電子ビーム（or 熱）で蒸着材を加熱して蒸発させ、基板に成膜させる。 基板 蒸着材 電子ビーム（or 熱） 薄膜が形成される	ターゲットと基板を真空 chamber に設置し、Ar イオンでターゲットを bombard して材料を蒸発させ、基板に成膜させる。 ターゲット Ar イオン 基板 薄膜が形成される



・貴金属・レアメタルのリサイクル



YAMAKIN PRECIOUS METAL RECYCLING

貴金属は限りある地球資源であると同時に、所有者にとって価値ある資産でもあります。当社は、大切な貴金属を一粒たりとも無駄にしないためのリサイクルシステムを確立。数々の分析装置や精錬反応装置など最先端設備を駆使し、貴金属の抽出・精製を可能にしています。また、リサイクル工程で発生する排ガス・廃水は、周りの環境に配慮し、環境基準よりも厳しい自社基準を運用して、自社プラントにて処理をおこなっています。

・歯科医療材料で培った材料技術

歯の治療に用いられる材料は、金属・セラミックス・レジンに大別されます。当社は全ての素材を自社で開発・製造・販売する総合歯科医療材料メーカーです。口腔内であっても接着力を発揮し様々な素材に有効な接着材料、ヒトそれぞれ違う歯の色をたった一本で対応し治療できる修復材料、塗布しやすく硬化時の歪みを抑え耐久性に優れるコーティング材料など、研究開発で培われた技術は高い評価を頂いています。



会社概要

会社名：YAMAKIN株式会社

代表者：代表取締役社長 山本樹育

創業：1957年5月

資本金：5,000万円

本社：高知県香南市香我美町上分1090番地3



会社WEBサイト



3期連続更新達成！



インスタグラム

京都の下宿

昨年STEPに異動して一年と少しが経った。仕事の変化にはいまだに助けを得てやっついて、いつもの年よりも長く感じる。私的な方では、雛から育ててこちらを親か何かと思っている文鳥が6年の生涯を閉じた。資格試験は一つ取れたが肝心な一つは落とした。どうも頭をよぎるのは良かったことよりも惜しまれることの方が多くなるようだ。

考えが浮かんでは消えるバスの中はさほど混んではいなかった。サクラサク。末娘が下宿生活を京都で始めるにあたり、入学式や引越し、進路決めの必要で親の私たちも数日間同行していた。その中で午前が空く日ができるため、かつて私がお世話になった下宿を訪ねてみようと思い立っていた。丸太町通りに行くバスは空席が徐々に増えて、車窓から電柱や枝が途中でぶつ切りの街路樹が見えると下宿の面する道筋に入ったのがわかった。

下宿には大家のおばさんが一人住んでおり、母屋や離れの空き部屋に住まわせてもらう形態であった。母屋は日本家屋で柱は黒ずんでいた。当時は数名の下宿人が居た。食事付きであったと思う。いただきますは一緒だが皆は食べて去るのが早く、いつも小母さんと二人でTVを見ながら食べていた。下宿には面倒見の良い一つ年上が居て、その人の部屋に数名の下宿人がよくお邪魔をしていた。私もその一人で夜更けまで雑誌やトランプに興じるなどしていた。離れの私の部屋から二階のその部屋への行き帰りでは大家さんや一階の下宿人に気を遣ってそっと階段を踏むが、いつも軋む段があった。

下宿を行き過ぎる方のバス停で降りた。小高く見える四つ角には馴染みだった牛丼のチェーン店が今も在る。初めて行ったときには、張込んで注文した生玉子を私がカウンターに落として割れた。店員のお兄さんはサッとテーブルを拭くと同時に替わりの玉子を出してくれた。

昔バッティングセンターがあった通りはオフィスビルの並びになっていることを認め、下宿の方向へ向かった。通りや先々に佇む稜線には変わりがなく、下宿人と共にそこを歩いたときの彼らの

姿と声は鮮明に浮かんでくる。ところが、街路樹の幹の太さが巨木のそれに近いことに違和感を覚えた。目印にしていたスポーツ用品店は商業施設になり、喫茶店はどの建物に変わったのかわからない。銭湯があった小径はどれなのかさえ分からなかった。

下宿の家宅があった辺りには着いたが、周りの変化に惑わされ場所が特定できない。そればかりか、似た構えの家を見歩くに つれて、何度も通ったはずの玄関口を思い出せないことに気が付いた。表札さえ有ればわかると思うのだが。

入居中のある日、一人の部屋が急に空き部屋になった。引っ越して行ったのは我々が騒がしいためだったと聞いた。芯が通じ合ったメンバーでは全員が各地へ移った後も交流は続き、京都で小母さんも含めて同窓会、との話を引受けて私は遠方に手紙を書いた。ところが、私の引越し先の下宿では郵便受けが別に所在するのを知らずに一年以上を過ごした。溢れた郵便物から見つけた手紙にはOKの返事が書かれていた。機会を逸した後は、ある一人がカンパした壱万円だったかを返しにとやって来たのが最後で、彼らとは会えていない。

混然とする記憶を現実には押し当てて歩くうちに、表札の取り外された空き家の前で足が止まった。黒ずんだ木の壁が二階に続いた先では雨戸が半ば閉じられた木枠のガラス窓があり、それらから受ける感覚が当時の覚えと分かちがたくあった。もしもそうであるのならば、眼前の壁の向こう側が皆でよく集まった部屋になる。

階上は微塵も動きが無く、周囲には昼近くの下んだ光が透っている。枝を落とされた街路樹は、分厚い樹皮の影を濃く幹に刻んで家宅の前に陣取っている。切り残った枝や幹の所々では、密やかに芽の緑が殻を割っている。小さいが葉のなりで銀杏だったのだなとやっと解った。

「夏の初めに」と、千葉に住む長女からの申し出を延期してもらっているのだった。近く、結婚をすること。居を関東に構えること。その挨拶をしに来たいと聞いている。(K.N)

職員の異動

採用	令和6年6月 1日	三好 正彦
退職	令和6年5月31日	安藤 初
	令和6年5月31日	森 久世司
	令和6年6月25日	植松 幸雄
転入	令和6年6月26日	東野 克俊 (四国電力株式会社より入向)

編集後記

7月26日から8月11日までパリオリンピックが開催されます。前回の東京大会から早いもので3年が経ちました。今回、東京大会で初登場したサーフィン、スポーツクライミング、スケートボードに加え、新たにプレイキン(ブレイクダンス)が採用されました。日本選手の活躍を大いに期待し、暑い夏を過ごしたいと思います。(S.W)

STEPでは、インターネットを通じて様々な情報提供を行っております。

● **STEPホームページのご紹介**

STEPの事業案内として、行事、催し物および個別事業の紹介などを掲載しています。

<https://www.tri-step.or.jp/>

● **イノベーション四国ホームページのご紹介**

イノベーション四国の事業案内として、行事、催し物および個別事業の紹介などを掲載しています。

<https://www.tri-step.or.jp/s-innovation/>

● **紙の総合マッチングサイト「四国は紙国」のホームページのご紹介**

四国の紙企業の紹介などを掲載しています。

<http://www.shikoku-kami.com/>

● **「四国発!ヘルシー食品&素材マッチングウェブ」(ヘルシー四国)のご紹介**

四国を中心とした食品素材・商品や提供サービスなどを掲載し、全国の食品関係企業の方々に検索・閲覧していただくことにより、企業間のマッチングを支援するサイトです。マッチングをお考えの食品関係企業様はぜひ企業登録・閲覧会員にご登録ください。

<https://www.healthy-shikoku.jp/>

● **メールマガジンのご紹介**

メールマガジンでは、STEP事業、国などの公的助成制度および、大学・公設試験研究機関などの、イベント情報および最新情報を、月2回提供しています。

また、STEPが事務局を務めるイノベーション四国活動の浸透と認知度向上のため、協議会事業の一環として情報提供も行っています。

配信をご希望される方は、STEPホームページ／賛助会員制度よりご登録ください。

<https://www.tri-step.or.jp/join/subscription.html>

STEPねっとわーく (STEPテクノ情報)

Vol. 30 No. 2 (通巻 102 号)

発行月 令和 6 年 7 月

編集発行人 池澤 寛

発行所 一般財団法人 四国産業・技術振興センター

Shikoku Industry & Technology Promotion Center

〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号 ヨンデンビル

Tel (087) 851-7025 Fax (087) 851-7027

E-mail : step@tri-step.or.jp

URL : <https://www.tri-step.or.jp>

印刷所 セキ株式会社

しあわせのチカラになりたい。

